



# 高輪だより

令和2年度4月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

令和2年度の始まりに

園長 柿沼 敦子

やわらかい春の日差しを受けて、園庭の花々は例年より少し早く咲きました。

この度は 新型コロナウイルス感染拡大防止のために様々のご理解とご協力をいただきましたことに心より深く感謝申し上げます。

さて、3月に高輪ゲートウェイ駅が開業しました。駅に一番近い幼稚園として大変うれしいニュースであり、子どもたちが心弾ませて出かけていく姿も見かけました。

高輪幼稚園は昭和50年に開園し、今年は45年目となりました。都会にありながら園歌「みどりの高輪幼稚園」にも歌われているように、樹木や草花の豊かな幼稚園です。

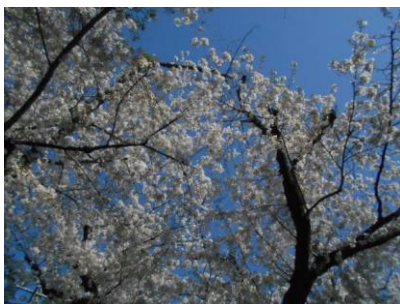
高輪幼稚園の教育目標は

『やさしく、かしこく、たくましく、伸びる高輪の子』です。

園生活を充実させ、子どもが「わくわく」と心を弾ませながら活動し、心が「ぼかぼか」になる温かい人との関わりの中で、伸び伸びと自分らしさを発揮しながら成長し、子どもも大人も「みんな笑顔」で過ごしていく幼稚園を目指します。

幼稚園は学校教育の第一歩です。遊びは大切な学びであり、小学校以降の生活や学習の基盤をつくっていきます。主体的で体験的な活動の積み重ねが生きる力の根っこを育てていきます。港区教育ビジョンの目指す人間像は、「夢と生きがいをもち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造する人」です。その姿を見据え、子どもたちの健やかな成長を願い、保護者、地域の皆様とともに教職員一同、全力で教育の充実に努めてまいります。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

サクラが見事に咲き、子どもたちが植えたチューリップも咲きました。



子どもたちが大好きな緑ゆたかな園庭